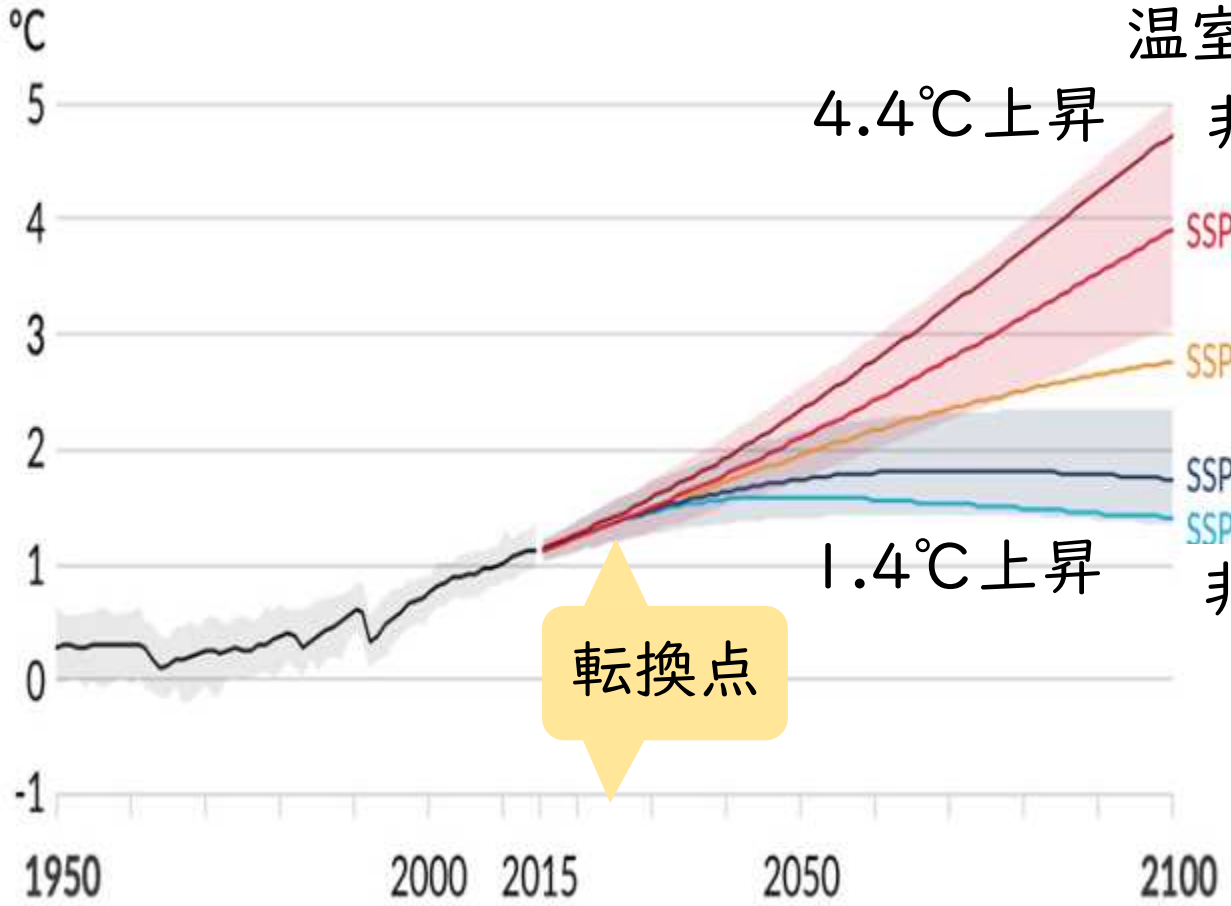
取組報告

北広島町における地球温暖化の現状とゼロカーボンタウン宣言

北広島町長　箕野　博司

北広島町における地球温暖化の影響



温室効果ガスの排出量

4.4℃上昇　非常に多い

1.4℃上昇　非常に少ない

2100年未来の天気予報
（環境省）

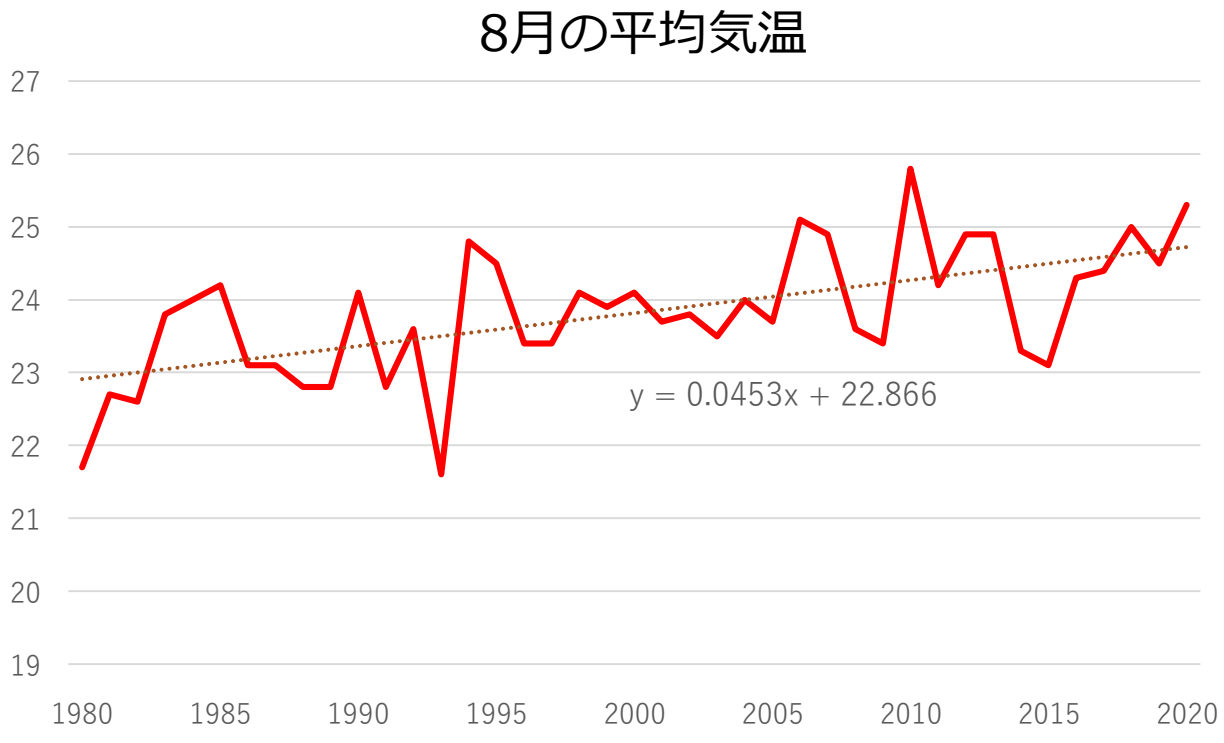
地球温暖化を抑制できるかどうかは2050年までの私たちの行動にかかっている

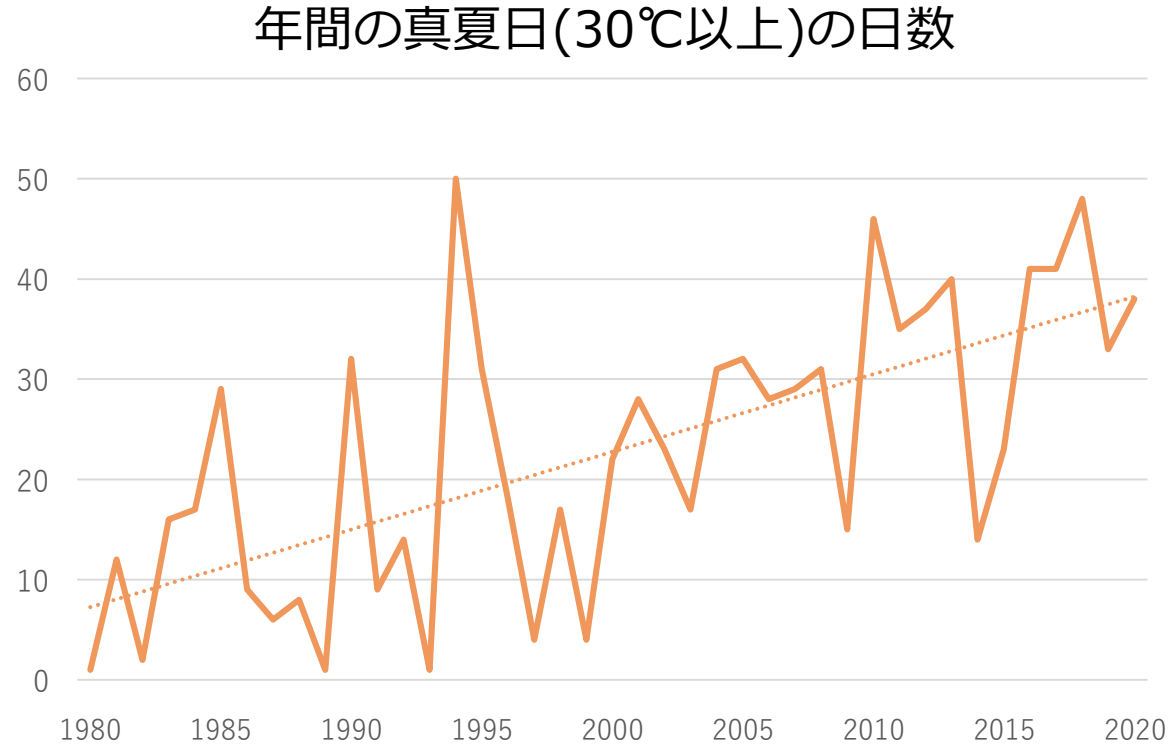
出所：IPCC(2021)Figure SPM.8a.より

北広島町における地球温暖化の影響

◎ 北広島町（大朝）の８月の平均気温は、過去40年間で1.8℃上昇した。

◎ 北広島町（大朝）の年間の真夏日の日数は、過去40年間で31日増加した。





出所：気象庁の気象統計データ（北広島町・大朝）より作成

北広島町における地球温暖化の影響

◎ 線状降水帯の頻発により豪雨災害が５年連続で発生している。

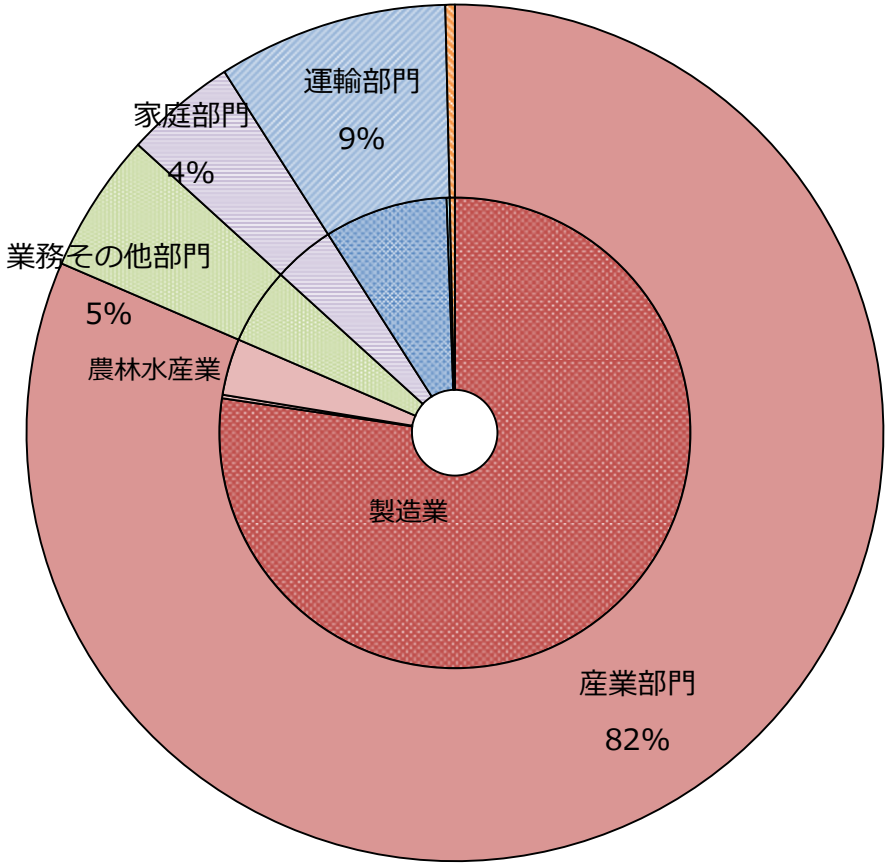
線状降水帯（2019年7月21日）

出所：ウェザーニュース より引用https://weathernews.jp/s/topics/201907/210095/

北広島町における地球温暖化の影響

◎ 北広島町のCO2排出量（2019）は約57万㌧で、産業部門の排出が８割を占める。

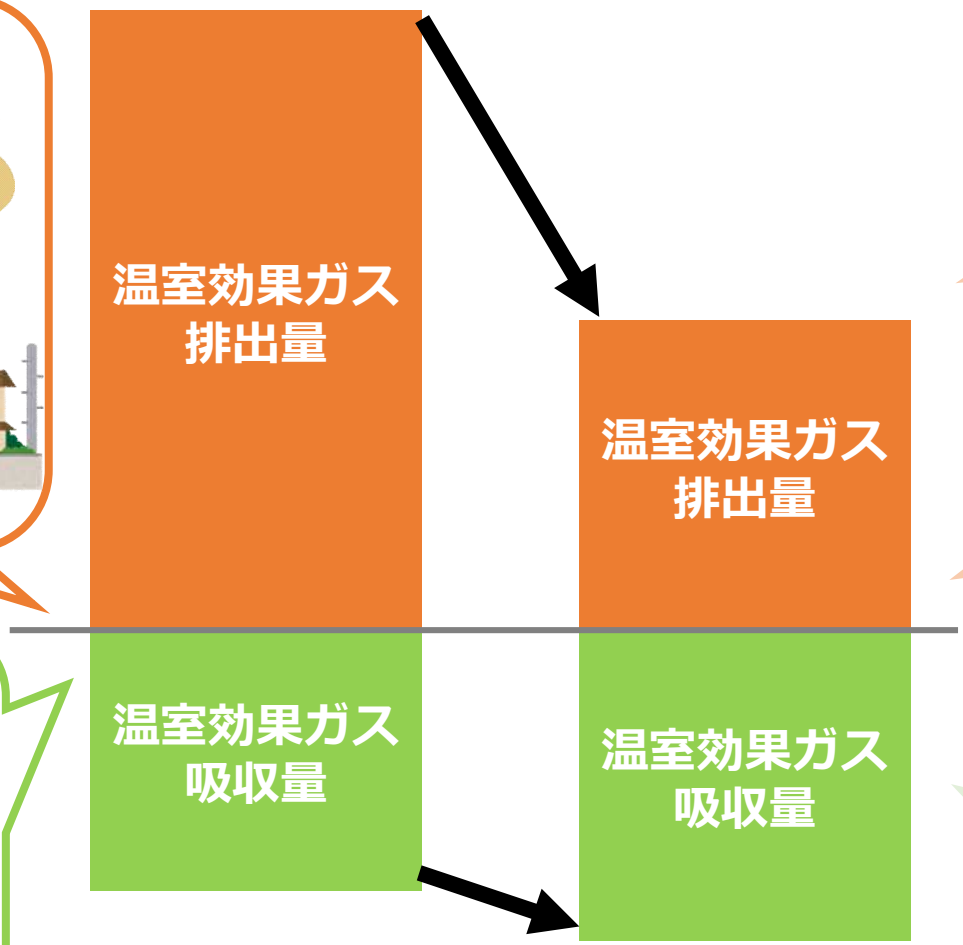
CO2の部門別排出量の割合



部　門	内　容	排出量（千t-CO2）
産業部門	製造業、建設業及び農林水産業における工場・事業場のエネルギー消費（燃料や電気）に伴うCO2排出	466
業務部門	事務所・ビル、商業・サービス施設のほか、ほかのいずれの部門にも帰属しないエネルギー消費に伴うCO2の排出	30
家庭部門	家庭におけるエネルギー消費に伴うCO2の排出（自家用車からの排出は除く）	24
運輸部門	自動車、鉄道、航空機におけるエネルギー消費に伴うCO2の排出	50
廃棄物分野	廃棄物の焼却・埋立、廃水処理、廃棄物の原燃料使用等に伴うCO2、CH4、N2Oの排出	2

出所：環境省「地方公共団体実行計画（区域施策編）策定支援サイト」、部門別CO2排出量の現況推計（2015年度）

ゼロカーボンタウンの実現に向けて



現在　　2050年

排出と吸収が均衡

（**ゼロカーボンタウン**）

◎３つの基本的な方針

省エネルギー
社会の推進

小さなエネルギー
生産工場の整備

森林の適正管理
の推進

ゼロカーボンタウンの実現に向けて

前提条件Ⅰ　北広島町の文化的景観や生物多様性を守る。

出所：北広島町観光協会HPより

ゼロカーボンタウンの実現に向けて

前提条件２　地域の課題解決につながる取組を推進する。

エネルギー代金の流出

１３３億円/年

再生可能エネルギー

エネルギー代金

エネルギー費用の好循環

地域内の課題解決などに資金

日常生活や経済活動

① 省エネルギー社会の推進

温室効果ガス排出量
の「見える化」

こまめな節電

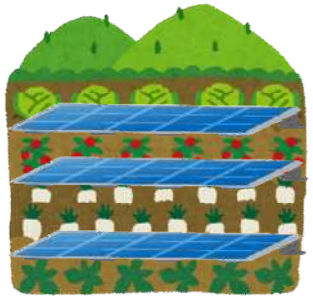
省エネ機器への更新

電気自動車やバイオ燃料
への転換

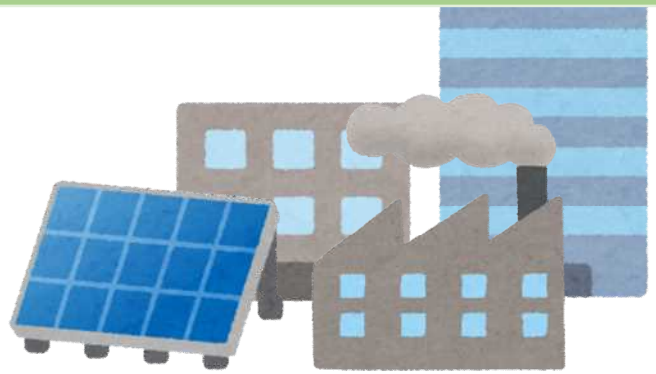
高気密・高断熱建物
の普及

公共交通・カーシェア
リングの利用促進

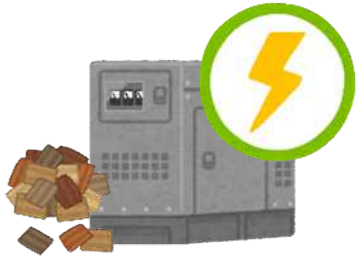
② 小さなエネルギー生産工場の整備

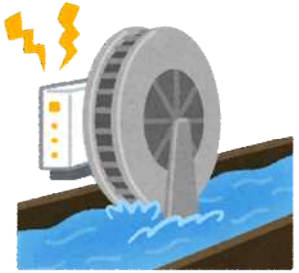


公共用地、ため池や農地（ソーラーシェアリング）への太陽光発電の導入



事業所、工場、住宅への太陽光発電の導入

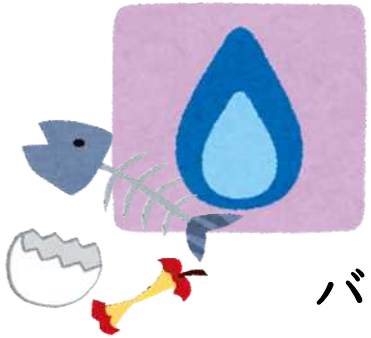




木質バイオマス発電や小水力発電の利用

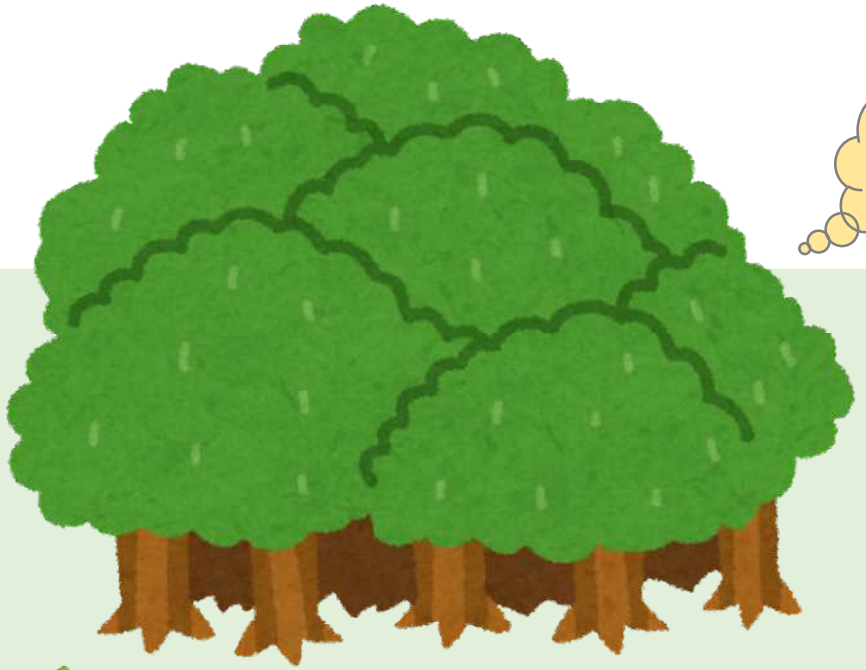
住民・企業・地域が主体となったエネルギー事業

公共施設（集会所・避難所）への太陽光発電の導入



バイオガスの利用

③ 森林の適正管理の推進



CO_2

吸収量

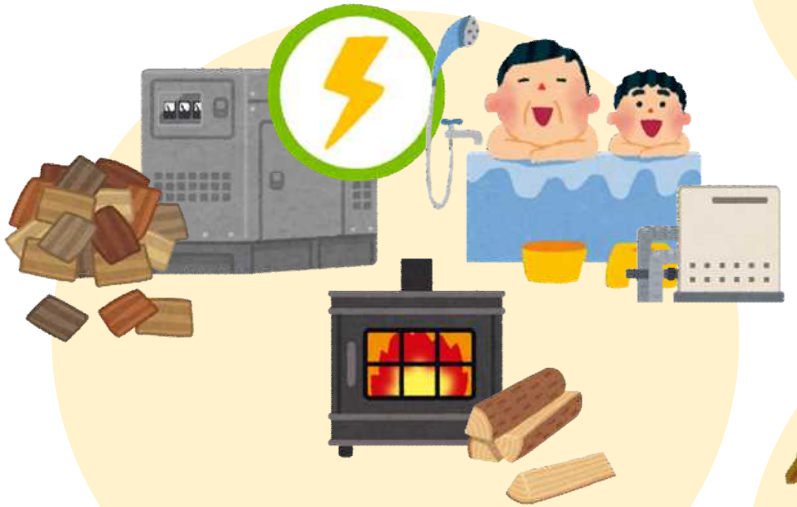
排出量

CO_2

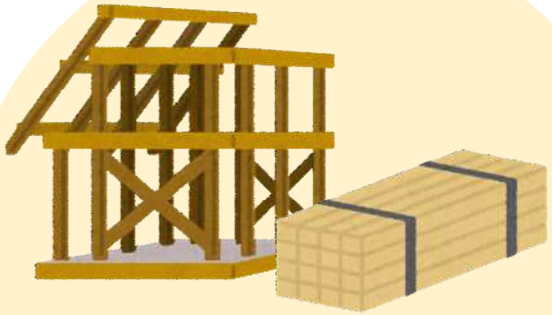
カーボンオフセット

森林体験・木育の推進

計画的な森林施業の推進



木質バイオマス発電や
熱利用の推進



地域産材の建築物への利用

ゼロカーボンタウンの実現に向けて

ゼロカーボンタウン

過去

エネルギーを自給自足する暮らし

現在

エネルギーを外部依存する暮らし

未来

エネルギーを地産地消する暮らし

自然に囲まれた心豊かな田舎ぐらしを未来に